

# 一般財団法人宮城県建築住宅センターに勤務をして

(一財) 静岡県建築住宅まちづくりセンター 袋井支所 二俣 智彦

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当センターへの各種申請、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

東日本大震災の復興による確認申請件数の大幅増により、宮城県建築住宅センターに勤務した1年5ヶ月間（派遣期間平成24年5月～25年9月）の様子、宮城県の状況などをお伝えしたいと思います。



伊達政宗公

## (宮城県建築住宅センター)

宮城県建築住宅センターは、まちづくりセンターと同様に確認審査検査、住宅性能評価、住宅かし担保保険業務を行っています。また、設計事務所登録をして公共建築物の工事監理業務もを行っています（役職員は90数人います）。

構造計算適合性判定機関でもあります（宮城県は複数の適判機関を指定しています）。

埼玉県、神奈川県、愛知県からも応援が来ています。

## [参考]

宮城県内の建築確認（交付）件数（特定行政庁、確認機関の総合計）

H21年度	9,595件
H22年度	10,065件
H23年度	14,031件
H24年度	18,559件

平成23年3月の地震以降確認件数は右肩上がりです。

## (確認申請)

宮城県は都市計画区域外の4号建築物も確認が必要です（法6条1項4号知事指定）。

震災直後は被災市街地復興推進地域（2年間の時限）が定められ、建築制限が掛けられました（許可を取れば建築可能）。その後、津波の災害危険区域、都市計画法53条、土地区画整理等により建築制限が掛っ

ています。

内陸部への防災集団移転事業は計画、早いところで造成工事が始まったばかりなので、住宅の確認申請は既存宅地への移転、被害（全壊、半壊等）による住宅再建、分譲住宅などです。

宮城県センターでは即日交付を行っていないので、仮受付から確認済証発行までに最短で3日ぐらいかかります。寒いので暖炉付きの住宅が多いです。また、内装に木を使いたいのので告示（H21年225号）使用が多いと感じます。しかし、基礎の凍結深度は定められていません。県北地域は農業が盛んなので畜舎の建築が多いです（静岡で審査をした件数以上の畜舎の確認を審査しました）。宮城県は壁面線（外壁の1m後退）、高度地区（仙台市内1種～4種）があります。

仙台市内は敷地が200㎡を超えるような分譲地（第一種低層）が多くありますが、高度地区（5m+0.61）及び壁面線がかかりますので、ゆとりのある建築計画が求められます。

特定行政庁からは、配置図に道路の境界杭の記入が徹底されています（コン杭、金属鋸等の杭の種類及び矢印の向き（↑））。

仙台市内は水平道路（法42条3項）として4m未満でも道路として指定されています（静岡県内では初島で指定されています）。

アパートにはタイヤ用の倉庫付のものもあります（雪国仕様のアパートです）。

首都圏のように4m道路の30坪の敷地に建蔽率、容積率が上限いっぱい3階建て、天空率使用が当たり前（神奈川県建築安全協会から派遣された方の話）の建築とは違い、宮城県の土地の広さなどは静岡に似た環境だと思います。



仙台すずめ踊り

(宮城県・仙台市)

東京～仙台間は350キロ、東京～静岡間は180キロなので、約2倍の距離です。

J R東日本は東北新幹線がドル箱路線なので、はやて・はやぶさ（全席指定）に乗ると東京→上野→大宮→仙台と1時間半ぐらいで着きます。

宮城県の人口は232万人、その内仙台市が106万人で約半数を占めています。その次の都市が石巻市で17万人、大崎市が14万人です。静岡県のように数十万人都市が存在しません。

人口は静岡県の2/3でも東北の中心都市なので、各企業の支店があり、仙台空港もたくさんの路線があります。大学の数が多いです。なぜか教会も多いイメージがあります。あと坂が多いです（横浜に似ていると言う人もいます）。仙台市地下鉄は南北線が1本あり、ただいま東西線を建設しています。



牛タン定食

(飲食)

牛タン、ささかま、ずんだ餅、なすの漬物、海産物（かき、ほや）等が有名です。数人で飲みに行っても、いつも飲み放題です。「飲み放題の文化」です。最初の歓迎会で、乾杯後2分後にはおかわりのオーダーを取りにきてびっくりしました（東北人はお酒が強い）。日本酒は、純米酒で売り出しているので醸造用アルコールが入っていないお酒が多いです（緑色の瓶で統一されています）。

仙台市は、国分町が夜の繁華街です（震災直後の一時期の華やかな時は終わったと言う人もいます）。

(風土)

仙台七夕祭りは、毎年8月6～8日に行われます。アーケード街の道路に竹を差す穴があるのには驚きました。普段は鋼製の蓋が被せてあります（水道メーターのような感じです）。



仙台七夕祭り



プロ野球の東北楽天イーグルス、Jリーグのベガルタ仙台、bjリーグの仙台89ERSがあり、スポーツも盛んです。蔵王連峰の屏風岳が宮城県の最高峰（1825m）です。テレビで自宅用除雪機の宣伝を見た時は、気候の違いを感じました。

山形県同様芋煮もあります（広瀬川、スキー場などに芋煮会場があります）。

宮城県内は、青葉城、松島、蔵王、温泉地などが観光地として有名です。



蔵王スキー場

(復旧復興)

街中で生活をしていると地震の影響を感じないのが現実です（時々大きな揺れはありますが）。昭和53年の宮城県沖地震（昭和56年の新耐震へ移行の地震）で市街地の建物は、大きく被害を受けたので、東日本大震災による津波の被害は甚大でありましたが、地震の揺れによる被害は顕著ではないと言う人もいます。

しかし、海岸線に行ったり、一歩足を延ばすと地震、津波の被害を感じます（震災前の状況がわからないので、想像するだけになってしまいます）。草むらの中に残る基礎だけの建物、被災して手つかずの建物・築造物、仮設住宅、復旧工事などを見かけます。被災地を見たり、講演会のお話、地震の本を読んだりすると、思うものが有ります。

最後になりましたが、今回の派遣に際して多くの方のご支援ご鞭撻に感謝いたします。

一日も早く復興することを望み、今回の報告を終わります。